

中河原駅周辺散策コース案内



中河原駅を利用した散策コースをご紹介します。Aコースは古鎌倉街道、分倍河原古戦場、新田川緑道、郷土の森までの約2.6 km。Bコースは下河原線線路終端地から下河原線跡の下河原緑道、郷土の森、Cコースは中河原渡し由来碑、多摩川堤防（府中多摩川風の道）、郷土の森。組み合わせれば、中河原駅を起終点にお楽しみいただけます。

1 Aコース

中河原駅から、古鎌倉街道を通り、分倍河原古戦場碑をめぐり、古多摩川流路跡の新田川緑道を歩き、郷土の森までの約2.6kmです。



(1) 古鎌倉街道



中河原は、古来から鎌倉街道の沿道に発展して来ました。古鎌倉街道は国分寺市の国分尼寺跡北隣に切通しが残っており、それからまっすぐ南下して現在の東芝府中工場内を通り、浅間神社・八雲神社前の陣街道から多摩川に向かい、中河原の渡しを経由して鎌倉に至っていたと思われます。



大国魂神社西側の府中街道
 大国魂神社西交差点から第三小
 学校前を通り、光明院前で古鎌
 倉街道に合流する、現在の鎌倉
 街道は、江戸時代に整備されたと
 言われています。
 分梅消防署前からライフ角ま
 での道路は、昭和12年に関戸
 橋と同時に整備されたようで
 す。

(2) 古多摩川 (新田川)



中河原駅から南へ約500
 mの多摩川。多摩川は、山梨県
 の笠取山（標高1953m）を水
 源とし、東京湾に注ぐ延長約
 138kmの河川です。なお、関
 戸橋は河口から約34km、水
 源からは約104kmの位置
 となります。

1660年頃に現在の多摩
 川の流路に固定されるまでは、
 現多摩川に浅川が流れており、
 古多摩川は立川段丘に沿って
 日野橋下流国立市青柳付近～
 日本電気北側～分梅町～是政
 付近で浅川と合流していたよ
 うです。

その古多摩川の旧河道の一
 部が用水の「新田川」となっ
 ており、今では新田川緑道とな
 っています。



(3) 分倍河原古戦場碑説明文



東京都指定旧跡

所在地 府中市分梅町三の五十九

指定 大正八年十月

元弘三年（1333）五月、新田義貞は執権北条高時を鎌倉に攻めるため、上野、武蔵、越後の兵を率いて上野国新田庄から一路南下し、北条方は分倍に陣を敷き、北

条泰家を総帥として新田勢を迎撃した。新田勢は敗れて所沢方面に逃れたが、この時、武蔵国分寺は新田勢のために焼失させられたという。その夜（5月15日）、新田勢に三浦義勝をはじめ相模の豪族が多く協力し、十六日未明再び分倍の北条勢を急襲し、これを破って一路鎌倉を攻め二十二日鎌倉幕府は滅亡した。

平成十年三月 建設 東京都教育委員会

2 Bコース

中河原駅から下河原線線路終端地、下河原線廃線跡に整備された下河原緑道を通り、郷土の森に至る約1.8 km。



下河原緑道（下河原線廃線跡）



下河原線は、多摩川の砂利を運搬する目的で明治43年（1910）に「東京砂利鉄道」として国分寺と下河原間が開業しました。府中市にとっては最初の鉄道路線でした。その後、大正9年（1920）に国有化したもので、位置づけとしては、中央本線の支線という扱いだっただようです。貨物の運搬に加えて、昭和8年（1933）に東京競馬場が開設されると、競馬場利用者のために、国分寺～東京競馬場前間の旅客線営業が開始されました。昭和51年（1976）には北府中と下河原間が廃止されました。

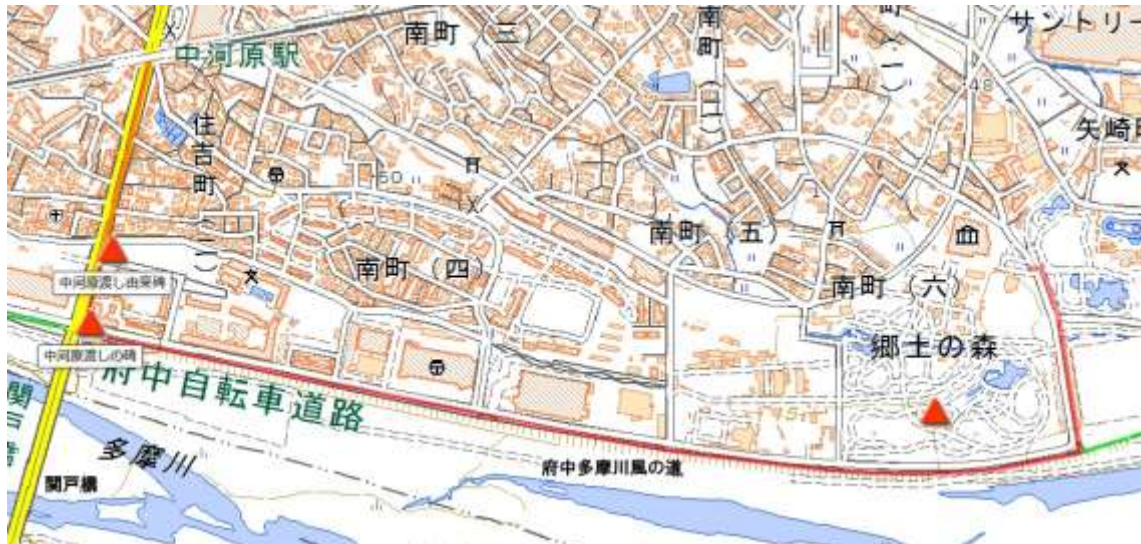
現在は下河原緑道として整備されています。

中河原駅から下河原緑道に向かう途中には、下河原線の終端と思われる場所があります。

- ・地形図は大正12年測図地図（今昔マップWEBから引用）
- ・中間の地図は下河原線の位置を現在の地図と重ねたもの
- ・下の写真は下河原線終端箇所

3 Cコース

中河原駅から中河原公園入口の中河原渡しの由来碑、関戸橋北詰の中河原渡しの碑、多摩川堤防の府中多摩川風の道で多摩川の風と風景を楽しみながら郷土の森への約2.6 kmのコース。



(1) 中河原渡し



中河原渡しは、中河原と対岸の関戸(現多摩市)との間を結んでいた鎌倉街道筋の渡りで、中河原村が経営していたことからその名があります。

多摩川の中に中河原村と関戸村の境界があるため、関戸側には関戸村が経営する関戸渡しが設置されていました。

これらの渡しは、昭和12年に関戸橋が竣工し、その歴史の幕を閉じました。渡し賃は、明治25年で平水時(2尺5寸)徒歩(一人)3厘、馬(一頭)6厘、人力車(一輛)6厘、大七以上荷車(一輛)1銭などでした。水深が5尺以上になると「川止め」(通船禁止)になりました。【碑文から】



(2) 関戸橋



鎌倉街道が多摩川を渡る関戸橋は、旧橋（中河原から関戸方向）と新橋（関戸から中河原方向）によって、各々2車線ずつが通れるようになっています。旧橋は昭和12年（1937年）、新橋は昭和46年（1971年）に完成しました。

(3) 多摩川



多摩川は、その源を山梨県塩山市の笠取山（標高 1,953m）に発し、途中多くの支流を合わせながら、東京都の西部から南部を流下し、東京都と神奈川県の間を流れ、東京都おおたくはねだ大田区羽田地先で東京湾に注ぐ、幹川流路延長 138km、流域面積 1,240 km² の一級河川です。

多摩川は、河川の中では、勾配が比較的急な河川であり、武蔵野台地や、中河原が位置する沖積低地を形成してきました。

中河原駅から南に約500mのところを流れていて、四季折々の綺麗な風景は、心を和ませてくれます。



(4) 府中多摩川風の道



多摩川の左岸に整備された四谷から押立町までの全長9.4キロメートルの遊歩道で、昭和49年に多摩川サイクリングロードとして完成しました。その後、歩行者と自転車利用者が安全に利用できるよう、「府中多摩川かぜのみち」に名称を変更しています。

遊歩道自体は一部区間を除き、羽村市から大田区まで続いています。

4 郷土の森博物館



約14万平方メートルの敷地全体で府中の自然、地形、風土の特徴を表現し、その中に昔の農家や町屋、歴史的な建物などを配置することで、野外を含めた「森」全体を博物館として、ふるさと府中の自然と歴史を楽しみながら知っていただける施設です。

郷土の森博物館は、博物館本館、プラネタリウム、復元建築物、公園からなり、博物館本館は、「郷土の森」の中心施設で、府中の歴史・民俗・自然をテーマとした常設展示は、豊富な実物資料のほか、模型や映像を通じて、府中を知る「情報の蔵」の役割を果たしています。

中河原駅周辺散策コース案内
平成30年1月作成

中河原都市開発株式会社

〒183-0034 東京都府中市住吉町1丁目84番地の1

TEL 042-351-4611 FAX 042-351-4612 TWITTER @toshikaihatsu

EMAIL ntk@apricot.ocn.ne.jp

HP URL <http://nakagawara-tokyo.sakura.ne.jp/index.html>